

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立晴明丘小学校

児童数

109

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.50	21.51	36.92	46.81	50.40	9.30	156.35	21.11	57.35
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.82	18.43	38.98	42.76	34.11	9.68	145.74	11.64	54.16
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

本調査を振り返ると、男子においては、全8種目の平均値が全国平均と同等以上、女子においては、20mシャトルランとソフトボール投げにおいて全国・大阪市平均を下回るものの体力合計点については全国平均を上回る結果となった。本調査の児童質問紙における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目における最も肯定的な回答をする男子の割合は75.0%、女子は61.2%であり、全国平均（男子72.7%・女子51.4%）を上回った。一方で、この項目における否定的な回答をしている児童の割合は、男子7.7%・女子16.1%となり、全国平均（男子6.5%・女子14.2%）より高い値となった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子で10.2%、女子で9.7%となり、全国平均（男子9.8%、女子17.3%）と比べて同等または低い値になった。これらの結果から、本校では、児童の体力面での高まりや運動が好きであるという意識の高まりがみられた。しかし、運動が好きではないと感じている児童や1週間の総運動時間が60分未満の児童も一定数いる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

#### 【これまでの取り組みの成果】

- ・毎週1回放課後にラジオ体操を行い運動の習慣化に努めた。
- ・体育の学習において、継続してラジオ体操に取り組んだ。
- ・運動委員会が中心になり、パワーアップタイムやなわとびタイムを実施するなど児童が楽しんで体を動かせるような取り組みを工夫した。成果として、全国ラジオ体操コンクール技術部門においてエリア奨励賞を受賞した。児童にとって運動の楽しさを味わい、運動を続ける良さや大切さを感じることができた。

#### 【今後取り組むべき課題】

- ・これまでの取り組みを今後も継続し、健康に関する意識の高まりを持続させていくよう、活動内容を工夫していく。持久力や柔軟性、体を思い通りに動かす調整力を高める取り組みを工夫していく。
- ・運動を通して「できた」「楽しい」という実感が得られるような授業の行い方や場づくりなどを工夫する。また、教員の指導力向上に向けて実技研修を行う。